

# 愛のスクラム



「市民の会」シンボルマーク  
第41号

編集発行：  
船橋市青少年の環境を良くする市民の会  
事務局：  
船橋市教育委員会青少年課内  
TEL：047(436)2902

— 船橋市青少年の環境を良くする市民の会広報紙 —



令和5年度を迎えるにあたって

船橋市青少年の環境を良くする市民の会会長

平川 道雄

日頃から青少年の健全育成に御尽力を戴いている市民の会の皆様方に感謝を申し上げます。

本紙の発行につきまして会員の皆様の強い要望から、今回は市民の会会員向けの「市民の会だより」と一般啓発紙としての「愛のスクラム」を併合して発行することになりました。

内容的には特段変わった訳ではありませんが、多くの皆様に読んでいただきたい紙面にと考えています。

さて、2023年の年明けは穏やかな日和に恵まれ、高校サッカー、ラグビー、箱根駅伝と若人の活躍で始まりました。

成人式も晴れやかななか行われましたが、新成人(20才)の人数は最小を更新し、来年以降も減少すると報道されて日本の将来人口が心配されます。

世はIT時代、青少年を取り巻く環境も我々の想像もつかない程度変化(進化?)しています。

高校生の4割がSNS上だけの友達がいるそうです。

スマートフォンが単なる通話手段で無くなり、パソコンと同様か、或はそれ以上の情報伝達手段となっている様です。

個人情報を含めて誰が発信したか解らずに短時間で情報が拡散してしまうことに何の疑問も持たないでちよっとした悪戯で発信し、後にトラブルになっている例もあります。

また、犯罪に誘導するケースもあり、入手した情報を信じて行動し、犯罪に巻き込まれてしまうケースもあるようです。

デジタルとアナログの違いも良く理解できず、スマホも使いこなせない私には何とも恐ろしい世の中です。

保護者の方達や学校関係者も含め情報を交換し、通信事業者の行う研修なども、市民の会の活動に取り入れてみたいと考えている処です。

## 船橋市青少年の環境を良くする市民の会・現在の地区組織 19地区名(順不同)

高	豊	松	塚	前	高	小	御	習	芝	飯	若	八	法	七	宮	二	海	船
根	富	が	田	原	根	室	滝	志	山	山	松	木	典	林	本	宮	神	橋
台	地	丘	地	地	中	地	・	野	地	満	地	が	地	中	地	中	地	中
区	区	区	区	区	区	区	金	台	区	中	区	谷	区	地	区	地	区	区
							杉	中		地	中	中						
							台	地		地	地	地						
							中	地		地	地	地						
							地	区		区	区	区						

## 「市民の会・地区意見交換会」の報告

船橋市青少年の環境良くなる市民の会 執行部

船橋市青少年の環境を良くする市民の会では、各地区の市民の会の皆さまのご要望により、今後の市民の会の活性化を図るため、意見交換会を行いました。

第一回目を九月二十二日、第二回目は年明けの一月十九日に開催いたしました。

会議では各地区の活動内容を始めとして、良い点・問題点・考えている改善案など、活発な発言がありました。

まずはコロナ禍での活動の難しさでした。感染拡大防止のために、多くの地区が行事の開催を見合わせている状況です。市民の会は元より人と人の「ふれあい」で成り立っている組織ですから、無理もありません。

そういった中でも、地域によっては野外の行事で子供たちの思い出づくりを開催したり、感染者の少ない時期に感染対策を考慮しつつ、研修会を開催した地区もありました。

また、活動が思うように出来なかった地区の方からは、コロ

ナ禍であっても自分たちが出来る小さなことを積み重ねて、地面の中のミミズのように役立つこともあるのではという心強い意見も挙がりました。

地区の皆さんが共通して心配しているのは、子どもたちのスマホやタブレットなどインターネットに繋がる情報端末の使い方でした。

いじめ問題や犯罪の原因と成りかねないスマホの問題に市民の会がどういった取り組みが可能なのだろうかという意見です。「SNS(Sソーシャルネットワークワーキングサービス)だけのつきあい与实际には会ったことがない友だちがいる」と回答した高校生が四割という調査結果も出ています。市民の会主催で、保護者に対してのスマホ利用の講習会を開催したという報告もありました。

このICT(情報通信技術)化が進む世の中で、子どもに勉強しなさいという大人が、難しいからとスマホやパソコン、SNSなどを避けていて良いのだろうかという意見もありました。

ある地区ではコロナ禍が終息した際には、中学高校生にスマホを教えてもらう機会を作りたいという提案もありました。この案のよりに子どもたちと一緒に学んで行きたいという気持ちも重要だと思います。

市民の会の活性化の一つの案として、地区市民の会としてスクールガード登録をするという地区もありました。定位置に立って見守るだけでなく、お散歩やお買い物時間を登下校の時間に合わせて子どもたちを見守ろうというスクールガードですが、制度が始まり十五年を過ぎることから、高齢化のため登録者数が減少している現状もありますし、子どもたちや保護者との接点に繋げることもできるのではないのでしょうか。

子どもたちの健やかな成長には、家庭・学校・地域が三位一体となることがとても大切だという意見も挙がりました。少子高齢化の世の中、総活躍社会の実現に向けて以前とは時間の流れに違いがあるかもしれません。教育委員会も運

営協議会を学校に設置し「コミュニケーションスクール」として、保護者・地域・学校が連携・共同して運営しようという仕組みを作ろうとしています。

今後も地区の皆さんと様々な情報を共有・交換を行い、より良い活動を目指したいと思います。皆さまのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



## 「船中ブロックの活動について」

船橋中学校区青少年の環境を良くする市民の会 理事 中村浩之

近年コロナ禍の影響で多くの活動が自粛していましたが、最近では徐々に活動が戻りつつあるように感じます。船中ブロックでは毎年開催している「子育てネットワークショップ」も中止にしたり規模を縮小したりと自粛を余儀な



くされておりましたが、今年度は保護者・学校・地域を交えた討論集会を開催することができました。第二十一回を迎える子育てネットワークショップ討論集会は「子どもたちの幸せのために」と人と人との繋がりをテーマに百二十名近い参加者で令和四年十二月三日船橋中学校において行われました。このテーマはコロナ禍で制限のある生活や何もできないことは果たして不幸なのか？コロナ禍前と違う生活の中でも考え方次第では幸せを感じることもあるのではないかとみんなで子どもたちの幸せについて話し合うことを目的に開催いたしました。

討論集会は前半講演、後半参加者による討論の一部構成で企画し、一部では講師に写真家の関健作様に「フラインダー越しから見つけた幸せのカタチ」と題し、ご自身の挫折から目標を見つけ苦手を克服しブータンで体育教師をした後、本当にやりたいことは何かを見つめ直したところから、現在写真家になり様々な活動をされて

るとご講演いただきました。幸せの国といわれるブータンでの幸せの考え方や、文化の違いによる苦労などのお話を交え、最後に最高の写真を撮るとき「果たしてこれでいいのか？」自問自答を繰り返して「これだ！」を見つけるまであきらめないとお話いただきました。そして「幸せを見つけたのも一緒ですね」と仰っていました。幸せのカタチは人それぞれで探る方が人と違って、どんなに時間がかかっても、諦めずに追い続けることが自分にとって、とても大切なことと感じました。

二部では参加者を十名程度の班に分けてテーマについて話し合っていたいただきました。短い時間で皆さんからは講演の感想や、普段感じていた幸せについて話し合い共有することができました。当たり前前の生活から一変したコロナ禍の生活ですが、例えば子ども達は今まで我慢をする必要が無かったことも我慢をすることで忍耐力が付くと共にコロナ前には見えなかった幸せを感じる事ができた

り、本来思い出に残るような学校行事が減った分、家族で明るく過ごせるよう工夫を凝らした遊びを考え家族行事を行ったり、授業参観など学校へ訪問する機会が少なくなったので学校の様子を子どもと話すようになった、また学校ではデジタル教材を活用して他の学校とも今まで以上に気軽に交流を持てるようになったなど、出来ることが増え色々な気づきがあったことを話し合うことができました。今年も他の学校や地域の方、先生方と忌憚なく話せる楽しい時間を過ごすことが出来ました。最後に今回の子育てネットワークショップ討論集会を通して「自己肯定感を高める」という言葉をよく耳にしたり今後とも未曾有の災害が起ったりするかも知れません。そんな時でも子どもたちが前向きに考え自信を持って生きる喜びを感じる事ができる環境を作ることが大切だと考えます。その為には家庭・学校・地域の絆をより深め自分たちが自信を持って活動することにより良い環境が作られるのだと思います。



# 「法典地区青少年委員会の活動について」

法典地区青少年委員会 広報部長 佐々木奈美子

法典地区青少年委員会は、青少年の健全育成とより良い環境作りを基本的理念とし、市内でいち早く発足、四十七年間に渡り地域の子ども達のために活動しています。

近年法典地区は、急速な人口増加に伴い、世代間のギャップや人間関係の希薄化、連帯感の欠如、価値観の多様化が進みつつあります。そこで、法典村当時から受け継がれている地域全体の繋がりが助け合いの気風を大切に、今後も継承発展させるため、本委員会は、時代や世相に合った活動を心掛けています。

現在本委員会は、法典地区自治会連合会を母体とし、小中高と特別支援学校計九校、その他団体として各町会や民生、相談員、保護司、補導員、公民館、子ども会、地域包括支援センターの計十二団体を合わせ、約六十名の会員となりました。毎年、この会員の中の小中学校六校より一校を当番校とし、主に年間の活動を共に考え、地域の行事を手伝って頂いています。このように毎年当番校制にす



る事で、広い法典地区の中でも各地域の抱えている問題に触れる事ができます。また、その時々の子育て世代の方々と情報・意見交換する事により、新鮮な風を委員会に吹き込む事や、逆に、この地域の守ってきた伝統に触れてもらう事も出来ます。

現在船橋市において、青少年の健全育成活動が出来なくなっている地域が増えて来ています。今後、どうやってそれらの地域の子ども達を守っていくのか、他人事ではなく船橋市全体の責任として考えてゆかなければならない時が来ていると思います。

活動において苦勞された大きな

要因がコロナ禍だと思えます。本委員会は、コロナ禍でも出来る事を考え、毎年行っていた教育講演会を止める事なく行っています。コロナ禍初年度は、少人数での座談会形式で行った内容を広報誌にて纏め、各参加団体に配布しました。昨年は、一昨年よりは多い人数ですが、やはり例年よりは少ない人数で講演会を行い、ビデオ撮影し動画に纏め、期間限定でYouTube配信しました。今年も去年より多くの方に声を掛けさせて頂き、講演会を行いました。今年も動画に纏めて配信する予定です。今後も、アナログ的な面とデジタル的な面両面を使いながら、地域の皆様に発信出来る様努めていくつもりです。

また、二年間のブランクを経て再開したのが、会員を対象として毎年行っていたバス研修です。今年も、年々増えて来ていた風水害にスポットを当てて、東京消防庁本所防災館に行ってきました。実際に地震や消火、煙発生時の避難の仕方、水圧にどの位自分が対処

出来るのか体験してみました。その中で、特に驚いたのが水圧でした。十センチ水が来ても、車のドアを開ける事は出来ません。これは、体験しないと分からない事です。この学びを持ち帰って、子ども達だけでなく地域全体で共有し、助からない命があってはならないと感じました。このバス研修は、会員の学びの場となっていると共に、交流の場にもなっています。

今後もこの様な委員会独自の活動と合わせ、地域のお祭り等のお手伝いをしながら、皆が楽しく有意義な時間を共有する中で、今の子ども達に何が必要なのか考え行動して行ける、そして子ども達から学べる柔らかい委員会でありたいと思います。



# 「小室地区青少年健全育成連絡協議会の活動について」

小室地区青少年健全育成連絡協議会 会長 伊達 禎之

小室地区青少年健全育成連絡協議会にて会長を務めております伊達禎之と申します。小室地区の紹介をさせていただきます。

小室地区は小学校、中学校どちらも1校ずつ、子供も多いとは言えません。

そんな小さな町ですがこれまで長きにわたり、働く親世代に代わり青少年健全育成のため意欲的に活動を続けてきてくださったのは子育てを終えたご高齢の方々でした。中学校パトロール、小室地区のお祭りやイベントの運営、マラソン大会の後の温かいおしるこは子供たちも毎年楽しみにしています。

ところが、新型コロナウイルス感染拡大によりこれまでの生活が一変しました。子供たちは学校にも行けない日々が続き、不安やストレスと闘いながらの生活、先が見えない中での受験勉強となってしまういました。

大変な時期を乗り越えてきた子供たち。楽しい思い出をひとつでも多く残してあげたい。そんな想

いから今年令和4年度、子育て現役世代のメンバーが加わり小室地区青少年健全育成連絡協議会は新たなメンバーの組織となりました。コロナ禍での活動は手探り状態でしたが、育成会協力員として多くの方々の手助けにより今年度はいくつものイベントを開催することができました。夏は小室中学校ご協力のもと中学校の校庭を開放し、夜に手持ち花火を楽しめるような場を設けました。



夏の夕べの会 7月23日(土)

クリスマス前には小室駅ロータリー、小室公民館の壁や植栽にイルミネーションを設置しました。PTAや地域の方々と一緒に懸命作り上げたイルミネーションで町がとても明るくなり、点灯式では小室の子供たちへクリスマスプレゼントとしてお菓子の詰め合わせを配布することもできました。クリスマス以降もお正月飾りに変えてしばらくは町を明るく彩ります。お正月飾りは小室中学校の生徒が書道で表現した千支文字も飾り、華やかな兔年を迎えること



クリスマス電飾・点灯式 11月20日(日)

が出来ました。

今年度は子育ての先輩方と手を合わせることによりたくさんの子供たちの笑顔を見ることができました。現役世代の私たちは仕事や子育てに追われ、なかなか地域の行事に携わることができずにいましたが、こんな時だからこそ力を合わせて地域全体で子供の安全と笑顔を守って行きたいと思えます。今まで変わらず見守り続けてくださったご高齢者の方々にも子供たちの笑顔を見せていくことで恩返しをしていきたいと思えます。





# 「高根中学校区市民の会の活動について」

高根中学校区青少年の環境を良くする市民の会 事務局 山口成子

高根中学校区青少年の環境を良くする市民の会は、高根中学校・高根小学校・高根東小学校・金杉小学校の地域で活動しております。他地区の市民の会と同様に、各学校・PTA・各町会・民生児童委員・青少年補導委員・スポーツ推進委員・青少年相談員・防犯指導員・人権擁護委員・自連協・地区社協・公民館・児童ホーム・地域の皆さま、計八十八名のご協力を頂いております。

毎年四月の新学期を迎えますと、学校関係で入れ替わったメンバーの引き継ぎから始まりまして、年間の活動計画を話し合い、役員間の選出をして、総会の準備を進めます。

総会には、夜間にもかかわらず各学校の先生方・各町会の役員の皆さまを始めとして、六十名以上の会員にご出席頂いております。また八月・十二月と年二回の役員会も開催しています。総会・役員会では、小中学校四校・校区内の県立船橋東高等学校の校長あるいは教頭先生から校内の様子をご報告



高根中学校 創立五十周年記念式典 市長ご祝辞

頂きまして、地域の住民との情報・意見交換の場となっております。その他の活動としては、六月の十月の夜間パトロール、新高根公民館にて「ふれあいの集い」を開催しています。

「ふれあいの集い」は、小中四校と東高校の児童・生徒の皆さんに、それぞれの学校を代表し、素晴らしい演目をご披露頂きまして地域と学校の大切な架け橋となっ

ています。

また、年末には先ほどの「ふれあいの集い」の模様、校区内に赴任された先生方のご紹介、地域のボランティアに参加された生徒さんたちの紹介などを交えた広報紙を発行してまいりました。

ところが、どの地区の市民の会も同様と思いますがコロナ禍によりまして、活動が寸断されてしまいました。

特に「ふれあいの集い」は公民館の講堂に溢れんばかりの大勢の方々が、まさに集っておりますので、同じ形態ではなかなか再開の目処も立たない状況です。

かろうじて、なんとか夜間パトロール・広報紙の発行を続けています。

そうした中でも、嬉しいニュースがありました。市民の会の活動の中心となっていた高根中学校の創立五十周年記念式典が無事挙行されました。平常どおりとは異なりまして、来賓の人数も制限されましたが、市長・教育長にも足をお運び頂きました。そして式典に



臨む生徒さんたちのとても立派な態度、またマスク着用でのきれいな歌声を拝聴しまして、感銘を受けたと出席された来賓の方からお聞きしました。

いずれはコロナ禍も終息を迎える日が来ると思っています。その時までは、地道な活動となるかもしれませんが、地域の皆様と協力して子どもたちの健やかな成長の一助となるよう活動を続けて参りたいと思っております。

今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

# 「船橋市更生保護女性会の活動」

船橋市更生保護女性会 会長 稲葉久恵

一人ひとりが人として尊重され、

社会の一員として連帯し、心豊かに生きられる明るい社会を目指して、更生保護の心を広め、次代を担う青少年の健全な育成に努めるとともに、関係団体と提携して過ちに陥った人たちの更生のための支えになるボランティア団体です。

① 社会を明るくする運動

船橋地区保護司会の協力のもと、7月初旬に市役所ロビーに更生保護女性会活動の様子を写真展示し

ておりました。

② 千葉県更生保護女性連盟の課題である絵本と紙芝居の読み聞かせについてはコロナ禍のため当会員が出入りできないので教育委員会にお願しいしく協力頂き小学校の教師により実施して頂いている次第です。(子ども達の中にある不安や差別の芽を解消し、非行を防止する活動です)

③ 施設訪問

コロナ禍の為に夏祭りや暮れの大掃除ボランティア活動が出来なくなり現在は少人数で母子支援施設、児童養護施設に訪問しております。又千葉県婦性会には更生保護活動として会員からの献品を宅配で届けています。

会員数は少人数ですが女性として母親としての立場で、それぞれの方が会に協力して下さるので成り立っております。

コロナ禍のため行事が減少しましたが状況に合った行事を増やしていきたいと試行錯誤しております。

当会に関心のある方は無理のない範囲でご参加ください。



# 「ライオンズクラブとその活動」

船橋北ライオンズクラブ 会長 川上勇

ライオンズクラブ国際協会は、日本ライオンズクラブとして、国内に約三千百余りのライオンズクラブがあります。

各都道府県を、330(サンサンゼロ)〜337(サンサンナナ)と8地区に分けられ、千葉県は333(サンサンサン)・C(シー)地区に所属し、約百三十余りのライオンズクラブがあります。



船橋北ライオンズクラブの主な活動としては、ライオンズ奉仕デーに合わせ、毎年十月後半から十一月中旬くらいに、船橋県民の森の内外周道のゴミ拾いを行っています。

又、船橋アンデルセン公園には、四月頃行われる当クラブのチャリティーゴルフ大会の収益金より、車椅子を二台寄贈させて頂いています。青少年健全育成活動の観点

から、船橋市内、北部地区にある中学校にて、薬物乱用防止教室を行わせて頂いています。その他、豊富地区柔道大会、高郷劍道大会などにも、微力ながら協力させて頂いています。船橋市二和西にある障害者施設「太陽」とらの子キッズ」には、毎年施設のクリスマス会に合わせて参加させて頂き、我々クラブ員がサンタクロースに扮して、歌、ダンス等を披露し、菓子のブーツをプレゼントさせて頂いています。

しかし、いずれもコロナウイルスのまん延により、対面での参加が出来ない事を、クラブ員皆で残念に思っています。

今後共、クラブ員一丸となって、様々な奉仕活動に邁進して参ります。

~ 70th Anniversary Project ~

船橋北ライオンズクラブ

2022年11月6日(土) 千葉県立船橋市民の森及び周辺

SDGsの一環として「住み続けられるまちづくり」を目標に毎年「ライオンズ奉仕デー」に清掃活動を行っています。

環境保全・ゴミO運動・ポイ捨て禁止を掲げ、電化製品・危険物等のゴミ収集をしました。年内、ゴミが少しずつ減り、成果が出てきています。これからも清掃活動を継続していきます！

千葉県環境局 環境課

千葉県環境局 環境課

連絡先 船橋北ライオンズクラブ  
TEL・FAX 047-462-7918



# 「少年警察ボランティアの活動について」

船橋東警察署少年警察ボランティア連絡会 佐々木 房子

少年警察ボランティアは、警察に協力して活動を行っております。

## ○啓蒙活動

警察のキャンペーンを手伝って駅前や商店街などで、ビラの配布をしています。ビラの内容は、青少年に関わらず、大人にも情報が共有される物など有り、犯罪の予防に役立つことと、願っています。

## ○街頭補導

東警察署の担当範囲は、(津田沼周辺から小室まで)と広く、ゲームセンターやパチンコ店など続く場所や暗く人通りの少ないところなど様々な誘惑な目を向けられている場には、声かけをしたり、警察や少年センターの方と立ち入り



ます。

## ○研修会

警察署内や外部での講習会、警察学校や少年院、関係する施設などを視察し、お話を伺います。

しかしながら、近年の新型コロナウイルスの影響で活動には制限がかけられ、難しい局面を迎えています。

そのような中でも、ニュースでは、特殊詐欺の発生が跡を絶たず少年・少女が巻き込まれるということが無いよう周りの人間が見守ることが大切です。

安全で住みやすい環境を目指して活動を続けて行きたいと思っております。

## 青少年の環境を良くする市民の会・参加団体名 (21団体・順不同)

- 船橋市自治会連合協議会
- 船橋市PTA連合会
- 船橋市青少年補導委員
- 船橋市民生児童委員協議会
- 船橋市全婦人団体連絡会
- 船橋市社会福祉協議会
- 船橋地区保護司会
- 船橋市スポーツ推進委員協議会
- 船橋警察署少年警察ボランティア連絡会
- 船橋東警察署少年警察ボランティア連絡会
- 船橋市青少年相談員連絡協議会
- 船橋市少年少女団体連絡協議会
- 船橋市子ども会育成連絡会
- 船橋市商店会連合会
- 船橋市仏教会
- 船橋市更生保護女性会
- 船橋青年会議所
- 船橋北ライオンズクラブ
- 船橋東ライオンズクラブ
- 船橋中央ライオンズクラブ
- 船橋市有価物回収協同組合

企業送迎バス・路線バス・高速バスのバス運転士大募集!

入社祝金最大20万円!  
月収30万円以上可能!  
大型2種免許取得支援制度あり!

お問い合わせ TEL 047-420-9130  
採用担当 平日・土曜日 9:30~17:30

**KBS 京成バスシステム**

**ふなばし アンデルセン公園**

〒274-0054  
船橋市金堀町 525  
TEL: 047-457-6627

**水のトラブル**

365日・24時間緊急対応  
トイレ、台所、風呂の  
つまり、あふれ等

0120-36-3796  
セイビコウシャ  
公益社団法人 船橋市清美公社

～子ども達が健やかに成長できるよう、青少年の健全育成活動を応援しています～